

「JNSA 全国横断セキュリティセミナー 2017」を開催

マーケティング部会では、JNSA 会員勧誘と地域でのセキュリティ啓発を目的として、「JNSA 全国横断セキュリティセミナー 2017」を、全国5都市で開催しました。

福岡、名古屋、大阪、仙台、東京の5ヶ所で開催したこのセミナーは、午前の部は「SIer・セキュリティ事業者向け」、午後の部は「一般企業向け」と内容を変えて実施しました。

今年度初めて企画したこの全国横断セミナーですが、午前・午後合わせて全国で約500名と多くの方が参加され、各会場では熱心に聴講いただき多くの質問がなされるなど、好評のうちに終了いたしました。

そして午前の部ではJNSA 入会のメリットを理解してもらい早速2社に入会をいただきました。さらに、午後の部ではあらためて昨今のセキュリティ事情を認識していただき、更なる対策の向上に意識が高まった様子でした。

今回のセミナーは、次の三点を企画意図として開催いたしました。

1. 政府のセキュリティ対策の支援施策の紹介
2. 全国各地域でJNSAの有益な活動のお知らせ
3. JNSAからのメッセージ発信(セキュリティ事業者への入会勧誘、一般企業へのセキュリティ啓発)

午前の部では、国内の施策や政府による補助金制度などのお客様への有益な情報や、ユーザー企業への提案に役立つ情報、さらにはJNSAに加盟することで得られるメリットについて具体的に紹介しました。

そして午後の部では、企業経営に役立つであろう国内の情報セキュリティに関する補助金制度などの政府施策と、「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」の活用方法や事例を基にした具体的な対策を紹介しました。

政府支援施策の内容紹介については、今回のセミナーで始めて知った方が多く、講演後の質疑応答で「どこでこのような情報を得られるのか」「詳細について教えてほしい」などの質問が相次ぎ、参加者の高い関心が伺えました。

SIerやセキュリティ事業者としては、セキュリティビジネスにおける課題を各参加者それぞれが持たれており、特に顧客企業の経営者に対して費用対効果を含めた提案に苦慮している企業が多く、経営層への理解を得ることの難しさが改めて浮き彫りになりました。さらにはビジネスをする上での人材育成、要員研修で苦慮しているといった人材面での不足感も顕著でした。

また、一般企業の方の状況は、セキュリティ対策の進捗に各社間の差異があり、その違いがアンケートのコメントに表れていました。特にこれから本格的に対策を行う企業にとっては、「事例が具体的、かつリスク洗い出し、ポリシー作成など手順がわかり大変参考になった」というコメントも多くあり、有益な内容であったといえます。

最後に、今回は東京を含め5都市で開催し、各地域での開催要望は多かったものの、参加者数についてはもう一息といった感はぬぐえません。告知・集客での工夫が必要と感じますが、定期的にこのようなセミナーを行うことで、地域所在のセキュリティ事業者のJNSAへの入会も増え、それをきっかけにユーザー企業のセキュリティ対策向上及びセキュリティ事業者のビジネスの成長に貢献していくと考えています。

イベント開催の報告

【セミナー概要】

◆名 称： JNSA 全国横断セキュリティセミナー 2017

◆主 催： NPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)

◆後 援： 経済産業省、一般社団法人中部産業連盟(名古屋会場)

◆協 賛： (午後の部)

EMC ジャパン株式会社(RSA)、アイマトリックス株式会社、アドソル日進株式会社、
アルプス システム インテグレーション株式会社、イーロックジャパン株式会社、
ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社、株式会社カスペルスキー、ソフォス株式会社、
株式会社宝情報、株式会社ディアイティ、デジタルアーツ株式会社、トレンドマイクロ株式会社、
株式会社プロット *五十音順

◆料 金： 無 料

◆対象者： 【午前の部】セキュリティビジネスをされている、またはこれから参入される企業の方
【午後の部】セキュリティ対策を導入されている、または検討されている企業の方

◆会場別参加者数

会場	開催日	参加者数(単位:名)	
		午前	午後
福岡	2017年6月8日(木)	22	49
名古屋	2017年6月26日(月)	28	38
大阪	2017年6月27日(火)	48	61
仙台	2017年7月13日(木)	25	36
東京	2017年7月20日(木)	82	98
参加者数合計		205	282



[会場風景]

INTERPOL World 2017 JAPAN パビリオン出展 & JAPAN ネットワーキングイベント レポート

JNSA海外市場開拓WGに参加する会員企業10社は2017年7月5日（水）から7日（金）にかけてシンガポールで行なわれた「INTERPOL World 2017」に出展いたしました。

展示会では各社がそれぞれ趣向を凝らしたブースを構え、JAPANパビリオンには目標の500名を超える約1,000名（重複含む）もの来場があり、その関心の高さがうかがえました。

また、初の試みとして「JAPANネットワーキングイベント」と題した商談会を開催し、約140名のお客様が日本の文化や食事を楽しみながら出展企業と交流し、ビジネスのきっかけ作りをしました。

名 称 INTERPOL World 2017

会 場 Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre

日 程 ○展 示:

●2017年7月5日（水）9:30 - 18:00

●2017年7月6日（木）9:30 - 18:00

●2017年7月7日（金）9:30 - 17:00

○ネットワーキングイベント:

●2017年7月5日（水）17:00 - 19:30

概 要

INTERPOL World 2017には8,362名が参加。展示会には34カ国226社が出展し、日本を含む8カ国（日本、フランス、イスラエル、イタリア、韓国、シンガポール、スイス、米国）はそれぞれ各国のパビリオンを出展し、自国の企業を支援・アピールしていました。

今回のJAPANパビリオンのテーマを『縁』とし、漢字で『縁』とプリントした特製のうちわや企業紹介リーフレットの配布、そしてJNSA丸山理事がINTERPOL World TVの取材を受け、日本のセキュリティ業界の状況やJNSAの役割の紹介、JAPANパビリオンのアピールを行い、集客に努めました（取材の様子はYouTubeに公開されています）。また、各社の展示ブースでは、製品・サービスの紹介動画の活用や、兜の展示、また折鶴を配布する等、趣向をこらしていたのが印象的でした。その結果、JAPANパビリオンには3日間合計で約1,000名（重複含む）もの来場があり、今後に繋がる『縁』をつくれたと考えております。



また今回、初の試みとしてJAPANネットワーキングイベントを7月5日（水）に開催いたしました。本イベントでは、セキュリティと日本文化の融合を目指し、各社が1卓ずつテーブルを持ち、そこで料理や日本酒、日本のお菓子をふるまいながら商談するスタイルを採用いたしました。開会の挨拶ではINTERPOL 奥隆行 様にスピーチいただき、シンガポール日本人会 和太鼓同好会による太鼓のパフォーマンスや書家 田中紫花 様による書道パフォーマンス、最後のLucky Draw（くじ引き）までイベントは大盛況でした。当初、集客に苦戦するかと考えておりましたが、最終的には140名以上の方が来場され、来場者は日本文化を体感、出展企業はビジネスのきっかけを掴むことができたと考えており

イベント開催の報告



ます。また、日本らしさをアピールするために男女共に浴衣を着て対応したメンバーが多く、和服文化に関心を持たれる来場者も多くいらっしゃいました。

今回、経済産業省及びJETROの支援があり、JAPANパビリオンとして10社もの日本企業が海外展示会に出展することができました。出展成果についても目標の500件（名刺枚数など）を大きく上回る結果となりました。今回の『縁』から成功事例が生まれ、そのノウハウを会員企業が共有し、また新たな機会が生まれる、今後そのような好循環を創りだせればと考えております。加えて、現地

での認知度・信頼を得るためにも、会員企業が継続して海外出展・アピール可能な仕組みを構築していくことが必要だと感じました。

展示会・ネットワーキング出展企業

株式会社網屋
株式会社インフォセック
NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
株式会社FFRI
株式会社ディアイティ
日本企画株式会社
日本電気株式会社
株式会社日立システムズ
株式会社ユービーセキュア
株式会社ラック

ネットワーキング出展企業

トレンドマイクロ株式会社

協 力

書家・筆跡診断士 田中 紫花 様
シンガポール日本人会 和太鼓同好会



その他、JAPAN ネットワーキングイベントでは、カンファレンスの聴講でシンガポールにいらしていた沢山の方々にもご協力頂きました。本当にありがとうございました。

JNSA海外市場開拓WGでは、海外展示会への出展や海外市場調査、海外進出マニュアルの作成、メンバー企業間での情報共有などの活動を行なっています。現在海外進出を検討している企業様、また海外事業に関心のある方、既に海外ビジネスを展開しているが情報収集したい企業様など、ぜひお気軽にWGへご参加下さい。